

## 文化勲章を受章した日本近世文学研究の第一人者 中野三敏さん、武雄市の名誉市民に!

武雄市出身の九州大学名誉教授 中野三敏さんが2016年度文化勲章を受章されました。

父親は初代武雄市長を務めた中野敏雄氏で、中野さんも中学卒業まで武雄市で過ごされました。

早稲田大学大学院修士課程修了後、江戸文化について、文学や人物の観点から熱心に研究を続けて来られました。

中野さんは、日本近世文学研究の第一人者で「右に出る者がいない」と言われるほど江戸時代の書物に精通し多くの著書を発表され、1998年に紫綬褒章、2010年文化功労者を受章されています。

武雄市でも2010年に、母校の武雄中学校にて後輩たちに向けて、「江戸の文化から他人を思いやることの大切さ」について講演いただきました。

今年に入ってから精力的に著書を刊行するなど活躍されています。

今回の受章を受け、名誉市民選考委員会に諮問、選定の答申をふまえ、11月29日の臨時市議会での同意を得て、中野さんを名誉市民とすることを決定しました。

武雄市の名誉市民は旧武雄市、北方町、山内町の名誉市町民を含めて9人目となります。

中野さんのますますのご活躍を祈念いたします。



◀お祝いに駆けつけた小松市長と中野氏ご家族



◀文化勲章表彰状



12月1日、胡瓜農家の山口仁司さん(朝日町)が、国内の農業において大きな功績を残した農事功績者に対する表彰「緑白綬有功章」を受章され、その報告のため来庁されました。

山口さんは長年、胡瓜施設を経営し、常に最先端技術を導入し高収益、省力化を目指して経営改善に積極的に取り組まれており、武雄市内はもとより全国の胡瓜農家に多大な影響を与えました。

小松市長は「受章は大変名誉なことであり、武雄市の誇り。」と話し、それに対し山口さんは、「今後も農業で武雄市に貢献していきたい。」と意欲を語られました。

### NEWS 胡瓜農家 山口仁司さん 緑白綬有功章受章

卓越した技能者を厚生労働大臣が表彰する本年度の「現代の名工」に、井手口鉄筋の井手口勉社長(朝日町)が選ばれ、12月7日、受章の報告に来庁されました。

建設現場で鉄筋を1本ずつ組み立てる仕事のやり方に疑問を感じ、工場で材料を事前に加工する「鉄筋ジャバラユニット工法」を開発された井手口さん。この工法により工期を大幅に短縮、これまでに県内外の大型商業施設など約100件を施工されています。

小松市長より激励の言葉を受けた井手口さんは、「失敗から学び、より簡単な方法で同等、それ以上の品質にすることを追及していきたい。」と抱負を述べられました。

### NEWS 井手口勉さん「現代の名工」を受章